

宗岡第二小学校だより

令和7年 7月号

No. 4



学校教育目標

よく考える子 やさしい子 たくましい子



高学年の宿泊行事を終えて

校長 赤沢 直幸

夏本番のような暑さが続いた6月でした。例年この時期は雨で外遊びができず、子どもたちに気の毒だと思っておりますが、まさか暑さを理由に外遊びを止めなければならないとは…。今年の梅雨の異常さだけでなく、地球の環境が変わっていることを思い知らされます。とは言え、子どもたちは天候に左右されることなく、日々の学びや活動に元気いっぱい取り組んでおります。

6月は、6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習と2つの宿泊行事が行われました。それぞれのしおりに目を通すと次のような目的が書かれていました。①自然や文化遺産にふれることで見聞を広げる。②学校や家庭を離れた環境で「自分のことは自分でやる」という生活（宿泊体験）をする。③友だちとの友情を深め、楽しい思い出をつくる。どちらの学年もこれらの目的に沿って、学び多き2（3）日間を過ごしていました。特に、③は学校の行事でなければ体験できないことです。どちらの学年も、この行事を通して、友だちとのかけがえのない時間を共有し、たくさんの思い出を作っていました。5、6年生の保護者の皆様には事前の準備にご協力いただきありがとうございました。また、たくさんのお土産話にお付き合いいただきありがとうございました。

この宿泊行事の引率を通して、子どもたちの素晴らしい姿と成長を目の当たりにしました。そのいくつかをご紹介します。

子どもたちはそれぞれの家庭の生活のルールのもとに生活をしています。100人いたら100通りの暮らしがあります。その子どもたちが互いの生活の仕方を認め合いながら、集団での生活をしていくことができたということは大変素晴らしいことです。大きくとらえると多様性を尊重する力が身に付いていくと考えられます。また、先を見通し、時間を守って生活する意識をもつ貴重な学習機会にもなりました。時間ギリギリになって動いていた子どもたちが5分前、10分前に準備を終えて次の行動に移る姿は立派でした。

そして一番感心したことは、子どもたちどうしの会話を聞いていると「ありがとう」と言っている場面が非常に多かったように感じました。感謝の気持ちを素直に伝えることができる、宗二小の子どもたちのよいところです。

今月は、1学期のまとめや夏休みに向けた準備の時期です。学習面では、これまでの成果を振り返り、次へのステップを考える良い機会となります。また、生活面では、暑さ対策や健康管理の大切さを再確認し、安全に過ごすための意識を高めていきたいと思います。

夏休みは、子どもたちにとって貴重な体験の場です。家庭や地域での活動を通じて、さまざまな経験を積み、心身ともに成長してほしいと願っています。